

放射能測定を実施したところ、放射性ヨウ素(ヨウ素131)、放射性セシウム(セシウム134、セシウム137)は下表のとおりとなりました。
このことから、多賀城市の水道水は安心してご使用いただけます。

多賀城市 末の松山浄水場ろ過水放射能測定検査結果表

測定機関: 東北大学、(株)江東微生物研究所

単位: Bq/kg

採水年月日	末の松山浄水場ろ過水(浄水)		
	放射性ヨウ素	放射性セシウム	
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
令和2年4月7日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和2年5月12日	不検出(<0.7)	不検出(<0.8)	不検出(<0.8)
令和2年6月2日	不検出(<0.8)	不検出(<0.7)	不検出(<0.7)
令和2年7月7日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和2年8月4日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和2年9月1日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和2年10月6日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和2年11月10日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和2年12月1日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和3年1月5日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和3年2月2日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
令和3年3月2日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)

<参考>

●不検出とは、測定において検出できる最小値です。

放射能の特性として、同じ機器で測定しても、検体ごとに検出限界値は変動します。

上記、表中の不等号は検出できる最小値が表記中の数字未満であることを意味します。

●放射性セシウム(セシウム134+137の合計)

・平成24年4月1日から厚生労働省では、食品衛生法に基づく飲料水の基準値が10Bq/kg設定され水道水については放射性セシウムの管理目標値として10Bq/kgが設定されました。

<検査頻度>

■自己水源

・末の松山浄水場ろ過水(深井戸 月に1回)

■受水水源

・仙台市茂庭浄水場浄水(釜房ダム水系 月に1回)

・宮城県仙南・仙塩広域水道浄水(七ヶ宿ダム水系 月に1回)